

ウェブ雑誌『中東レビュー』の創刊にあたって

日本貿易振興機構アジア経済研究所では2011年初頭に始まったいわゆる「アラブの春」とその後の中東地域の政治的変動に対応して、これまで国際シンポジウムや政策提言研究、アジア研フォーラムなどさまざまな形で研究成果の発信と新たな研究ネットワークの形成に取り組んできた。今回、中東地域に関するウェブ雑誌『中東レビュー』を新たな構想と装いのもとで創刊しようとするのも、こうした取り組みの一環である。

当研究所は1975年9月刊行の『中東総合研究』第1号以来、中東地域に関する研究成果を定期的に刊行される雑誌の形態で公開・提供してきた。1986年9月以降は『現代の中東』および『中東レビュー』として年2回の刊行を重ねてきたが、諸般の事情により『現代の中東』は2010年1月刊行の第48号をもって休刊している。『中東レビュー』はこれらの過去の成果を直接・間接に継承し、新たな環境のもとでさらに展開させていこうと企図するものである。

今回、不定期刊行のウェブ雑誌『中東レビュー』を新たに企画するにあたり、そのひとつの核として位置づけているのが「中東政治経済レポート」の連載である。「中東政治経済レポート」はアジア研の中東関係の若手研究者を中心に、担当する国・地域の政治・経済および社会についての情勢レポートを随時ウェブ発信し、これを年に一度再編集して年次レポートとして継続的に提供していく予定である。

『中東レビュー』のもうひとつの核は、変動しつつある現代中東を対象とした社会科学的な論稿の掲載である。論稿についても随時ウェブサイトに掲載していくことで、執筆から発表までのタイムラグを短縮し、かつこれを『中東レビュー』の総集編に収録する段階で最終的にテキストを確定するという二段階方式を採用する。なお使用言語は当面日本語と英語の2カ国語を想定しており、これによって従来よりも広範囲の知的交流を図っていきたいと考えている。

『中東レビュー』はアジア経済研究所内外にあつて中東地域に関心を寄せる方々の、知的・情動的な交流のフォーラムとなることを目指している。この小さな試みが中東地域の現状についてのバランスの取れた理解とアジア研における中東研究の新たな深化・発展に繋がりますよう、改めて皆様の温かいご理解とご支援をお願いいたします。

『中東レビュー』編集ボード 委員長

鈴木 均